



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院



外科年報

2023





副院長
診療部長
外科主任部長
後藤 学

川崎幸病院を日頃御支援頂きありがとうございます。

2022年もコロナ感染症に終始した1年でした。当院でも患者や職員において陽性者が出たことでの病床利用の制限、予定手術の延期などせざるを得ない状況がありました。地域の医療提供に影響が出ないように、悪性腫瘍手術と緊急手術だけは受入れるよう努めました。

2022年度の手術実績は、川崎幸病院での入院手術、第二川崎幸クリニックでの外来手術を合わせて1,219件でした。これもひとえに地域の皆様にご信頼いただいた結果と感謝の念に耐えません。今後も油断することなく感染症対策を行いこの地域に対して我々が果たすべき医療を提供しようと勤めます。

当院は2022年度より外科専門研修プログラムの基幹病院にもなりました。外科医の減少がさけられる中、将来を担う外科医師を育てることで地域に貢献、若手外科医の礎となれば幸いと考えます。

川崎幸病院での入院診療はもちろん第二川崎幸クリニックにおいても外科、肛門大腸外来、食道外科、乳腺外来、肥満外来、化学療法外来を展開しております。

これからも今まで同様のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

消化器病センター 外科 診療基本方針

1. 消化器腫瘍・悪性腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
2. 消化器の急性期疾患に対する24時間の対応

外科診療の5本柱

食道外科

消化管外科

肝胆膵外科

乳腺外科

呼吸器外科

悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん、肺がん など

良 性 疾 患

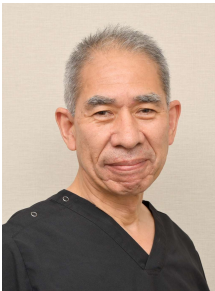
消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍 など

急 性 疾 患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、気胸 など



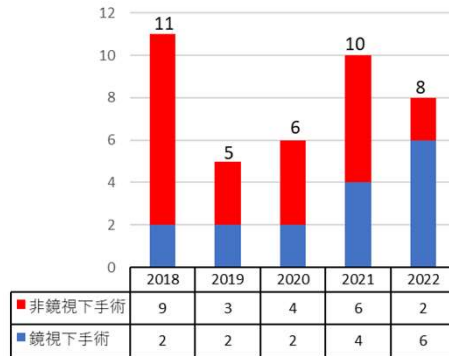
食道外科



副院長
食道外科部長
がん治療センター長
臨床研修センター長
日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がん
サルベージ手術)

食道がん、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道癌には手術・抗がん剤・放射線治療・免疫療法による集学的治療を行います。手術は胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。手術を受けたくない方や手術が難しい方には化学放射線療法を行います。化学放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院治療後の遺残や再燃に対する治療の依頼にも対応可能です。日本食道学会の食道外科専門医が常勤し、食道外科専門医認定施設に指定されています。地域の中で専門病院と同レベルの診療を受けられる医療体制を提供しています。大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態にも大動脈外科と協力して対応しています。



食道がん切除手術 年次推移

食道がん手術	8
サルベージ手術	1
大動脈瘤手術後食道穿孔の食道切除再建	4
食道破裂の食道切除再建	1
食道異物除去	0
食道裂孔ヘルニア	1

2022年 手術内訳

消化管外科

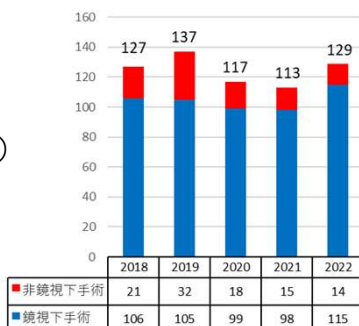


外科部長代行
消化管外科部長
成田 和広

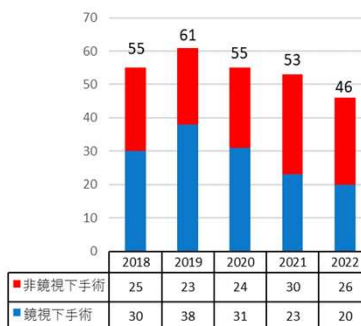
■ 専門
消化器外科
(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および
消化器内視鏡

消化管外科は、胃から大腸・肛門までの消化管を扱い、消化器外科の中で多くの症例が対象になります。悪性新生物で代表的な大腸癌、胃癌を中心に、外来部門の第二川崎幸クリニックと連携し、早期発見から手術、化学療法、そして放射線治療など癌の集学的治療を行っています。上級医は全員内視鏡外科技術認定医を取得し、全手術の半数以上は腹腔鏡手術で行っています。直腸癌の側方郭清や経肛門的鏡視下手術などの高度手術や、ICGを用いて血流評価を行い吻合不全対策にも取り組んでおります。消化管穿孔、ヘルニア嵌頓や腸閉塞などの急性腹症についても24時間365日対応し、緊急手術は全体の約20%を占めております。また、痔核に関しては便通コントロールを行い、必要時に切らない治療(ALTA療法)を含めた手術対応をしています。

新型コロナが5類に移行し、健診や外来受診も増えるものと思われます。当科対応疾患は迅速に対応いたしますので、ご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



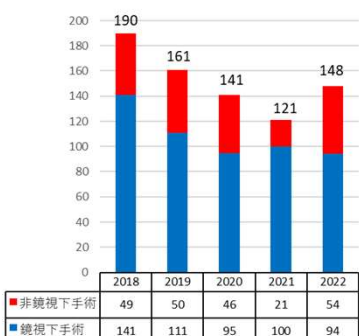
大腸がん手術 年次推移



胃がん手術 年次推移



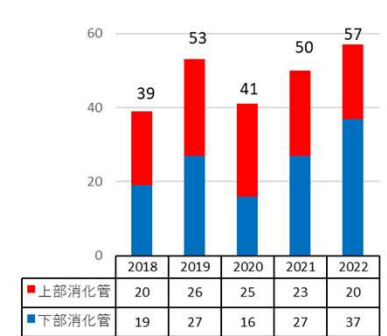
虫垂炎手術 年次推移



ヘルニア手術 年次推移



胆石症手術 年次推移



消化管穿孔手術 年次推移

肝胆膵外科



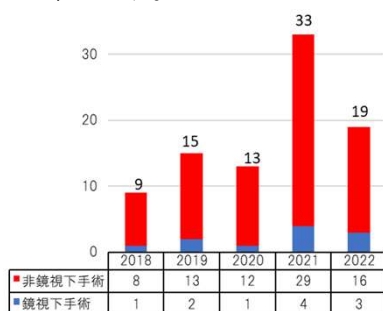
肝胆膵外科部長

原 義明

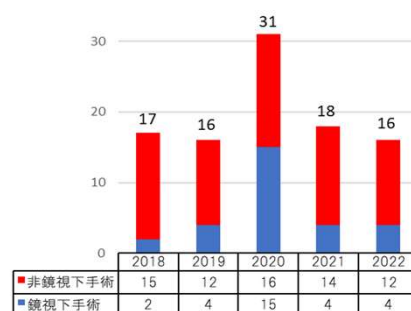
■ 専門

消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

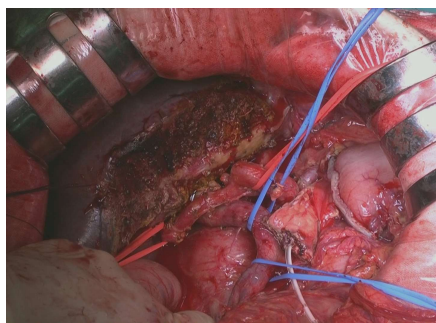
肝胆膵外科では、膵癌、肝癌などの進行癌症例が多く、またご高齢の患者様も多いですが、根治性と安全性の両立を第一として手術を行っています。肝切除では術前CT volumetry、3Dシミュレーションなどを用いて、より安全な手術を実施しています。膵癌に対しては原則術前化学療法を行った後に手術を行っています。症例に応じて、門脈などの血管合併切除も積極的に行い、癌遺残のないR0手術を実施しています。肝切除、膵切除ともに適応症例に対しては腹腔鏡手術も積極的に行っています。また、急性胆嚢炎に対しても早期手術を行っております。ご高齢の患者様も多いですが、患者様それぞれに応じた最適な治療を考慮して診療しています。いつでもご連絡、ご紹介いただければ幸いです。



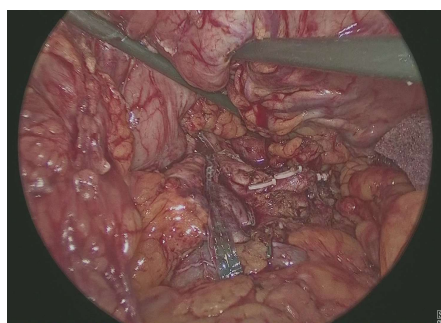
膵切除術 年次推移



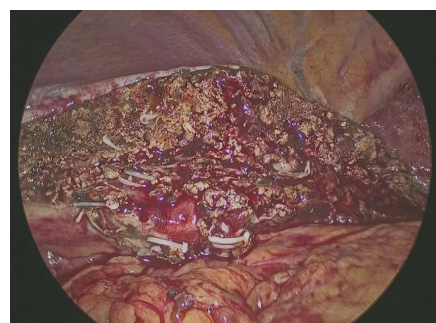
肝切除術 年次推移



肝膵同時切除(胆管癌)



腹腔鏡下脾温存膵体尾部切除
(膵体部IPMN)



腹腔鏡下肝外側区域切除(肝細胞癌)

乳腺外科



乳腺外科副部長

木村 芙英

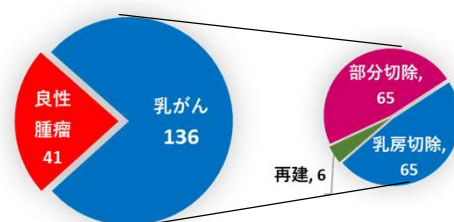
■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

ブレストセンターでは、乳がんをはじめとする悪性腫瘍の診断・治療、遺伝相談や、乳腺炎、葉状腫瘍、などの良性疾患の診断、治療を専門的に行っています。手術については川崎幸病院外科スタッフや形成外科スタッフと連携し、一般的な乳癌手術や 同時再建手術、術後放射線治療を川崎幸病院で行っております。術後の経過観察、化学療法等の薬物療法、切開生検、腫瘍切除は第二川崎幸クリニックにて行っております。現在、乳腺を専門とする常勤医師3名と乳腺認定看護師とで診療にあたっています。2022年には臨床遺伝専門医を中村医師が取得し、遺伝診療をさらに充実することができました。個々に合わせたご満足いただける治療を今後とも提供できるようスタッフ一同精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



乳腺手術件数年次推移



2022年 手術件数内訳

呼吸器外科



呼吸器外科部長
臨床研修センター
副センター長
長山 和弘

■ 専門
肺癌・縦隔胸壁腫瘍・
気胸・漏斗胸
低侵襲手術・
拡大手術・
肺移植・
コンピューター外科・
医学教育

2019年4月に開設された呼吸器外科も節目の5年目を迎えました。2023年4月より呼吸器外科専門医3名の体制で手術を中心とした診療を行っています。

肺癌をはじめとする呼吸器外科の対象疾患では、ご高齢の患者さんが多く、呼吸器疾患や心疾患、糖尿病等の併存疾患を有する傾向にあります。このような患者さんの術後のQOLを保つためには、患者さんの病状に応じて、小さな創で、肺機能を温存し、根治を目指す外科治療が求められます。当科では、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍など悪性腫瘍に対する外科治療として、2.5cmの単孔による超低侵襲胸腔鏡手術から、高難度な拡大開胸手術まで、患者さんの病状に応じた手術を実施しています。

悪性腫瘍以外では、若年者に多い原発性自然気胸、高齢者に多い続発性自然気胸、肺化膿症、膿胸、胸部外傷などの呼吸器外科緊急疾患を幅広く受け入れ、必要に応じて外科治療を行っています。また、気管支鏡下肺生検(TBB/TBLB)、超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)、CTガイド下生検による診断や、切除不能進行再発非小細胞肺癌に対する化学放射線療法も積極的に行っています。肺癌、気胸、肺転移、縦隔腫瘍はもちろん、紹介すべきか迷う症例もまずはご相談下さい。

	2020年	2021年	2022年
入院件数 (緊急入院)	166 (72)	172 (54)	183 (72)
手術件数 (胸腔鏡手術)	84 (71)	100 (84)	86 (74)
気管支鏡検査	14	36	34
手術症例の 入院死亡	0	0	1

減量外科のご紹介



外科副部長
網木 学

■ 専門
内視鏡外科
肥満減量外科

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われており、劇的な体重減少や、糖尿病や高血圧症などに対する改善などが多数報告されています。

日本では2014年に腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険収載されましたが、実施可能な施設は限られているのが現状です。

当院では2019年より、保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を導入致しました。腹腔鏡下スリーブ状胃切除術とは、胃を特殊な器具に沿わせて切離し、胃のサイズを100ml程度へ縮小させる術式です(図1)。当院の平均手術時間は2時間以内であり、全ての症例が術後3日目に退院しております(図2)。術後1ヶ月以内の再入院は無く、術後1年の平均体重減少は約40kgと非常に良好です。手術件数も年々増加しており、2022年は53症例で、神奈川県で第1位、全国で第4位の手術件数でした(図3)。術後は多職種での外来フォローを継続し、長期間に渡って体重減少が維持できるようサポートさせていただきます。なお、日本語以外での外来診療(英語、スペイン語、ポルトガル語)や、オンライン診療(日本語、英語)も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

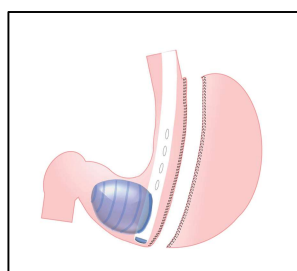


図1

2019年12月～2022年12月	手術症例 (101名)
手術時間 (分)	114
術後の早期合併症	0
術後在院日数 (日)	3

図2

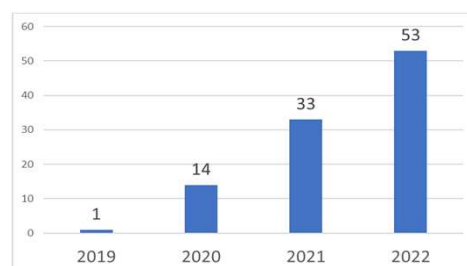


図3



治療に関する疑問点などについてはE-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。

E-mail: genryou@saiwaihp.org

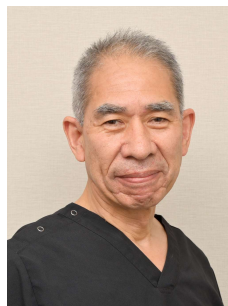


副院長
診療部長
外科主任部長
後藤 学

■ 専門
消化器外科(特に消化管・肝胆膵)
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医



副院長
食道外科部長
がん治療センター長
臨床研修センター長
日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がん手術)

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医、指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本食道学会食道外科専門医・食道科認定医
- ・ 医学博士



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

■ 専門
消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医・指導医
- ・ 日本救急医学会救急科専門医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本臨床外科学会評議員
- ・ 日本外科感染症学会評議員
- ・ 大腸癌研究会施設代表者
- ・ 大腸スtent安全手技研究会世話人
- ・ 神奈川ストーマ研究会世話人
- ・ 川崎市外科医会常任幹事
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ ICD(認定)
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ TNTコース修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 仙骨神経刺激療法講習修了
- ・ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会修了



肝胆膵外科部長
原 義明

■ 専門
消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本肝臓学会肝臓専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道)・評議員
- ・ 日本肝胆膵外科学会評議員
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医・評議員
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本移植学会移植認定医
- ・ 日本胆道学会指導医
- ・ 医学博士



外科副部長
網木 学

■ 専門
内視鏡外科
肥満減量外科

■ 認定資格等

- ・ 麻酔科標榜医
- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 検診マンモグラフィ読影認定医
- ・ 日本ヘルニア学会評議員
- ・ 厚生労働省指定オンライン診療研修終了



外科医長
小根山 正貴

■ 専門
消化器外科
内視鏡外科(食道・胃・胆嚢・大腸・ヘルニア)

■ 認定資格等

- ・ 日本食道学会 食道科認定医
- ・ 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会 技術認定医
- ・ 日本外科学会 外科専門医
- ・ 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・ 日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医・指導医
- ・ 内痔核治療法研究会 四段階注射法講習会修了
- ・ 日本がん治療認定機構 がん治療認定医
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 難病指定医
- ・ 神奈川ヘルニア研究会世話人
- ・ 神奈川胃癌研究会世話人
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ がんリハビリテーション研修修了
- ・ 医学博士

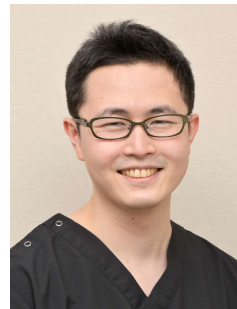


外科医長
石山 泰寛

■ 専門
消化器外科
大腸外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本内視鏡外科技術認定医・評議員
- ・ 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員



外科医師
望月 一太郎

■ 略歴

2015年 金沢大学医薬保健学域医学類卒業
2015年 金沢大学附属病院 初期臨床研修医
2020年 川崎幸病院 外科

外科医師
皆川 結明

■ 略歴

2017年 横浜市立大学医学部医学科卒業
2017年 横浜市立市民病院 初期研修医
2019年 横浜市立市民病院 外科専攻医
2020年 埼玉医科大学国際医療センター
2021年 横浜市立市民病院
2022年 川崎幸病院 外科

外科医師
山元 崇輔

■ 略歴

2023年 川崎幸病院 外科



外科医師
渡部 和玄

■ 略歴

2018年 東京大学医学部医学科卒業
2018年 東京都健康長寿医療センター 外科
2020年 静岡県立総合病院 消化器外科
2022年 東京大学医学部附属病院 外科
2023年 川崎幸病院 外科

外科医師
結城 啓介

■ 略歴

2023年 川崎幸病院 外科

呼吸器外科



呼吸器外科部長
臨床研修センター副センター長
長山 和弘

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸
低侵襲手術・拡大手術・肺移植
コンピューター外科・医学教育

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本呼吸器外科学会専門医
- ・ 日本呼吸器外科学会評議員
- ・ 日本移植学会認定医
- ・ 医学博士
- ・ 医療系大学間共用試験実施評価機構 OSCE評価者

呼吸器外科医長
吉田 大介

■ 専門

肺がん、縦隔胸壁腫瘍・気胸・
漏斗胸・低侵襲手術・
拡大手術

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本呼吸器外科学会専門医
- ・ 医学博士
- ・ 緩和ケア講習会終了



副院長
呼吸器外科顧問
中央診療部門長

藤野 昇三

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸
漏斗胸・呼吸器領域の内視鏡手術

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会指導医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本呼吸器外科学会終身指導医・専門医
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
- ・ 日本呼吸器学会指導医

乳腺外科



乳腺外科部長
プレストセンター長
(第二川崎幸クリニック担当)

木村 芙英

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本乳癌学会専門医・指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ マンモグラフィー読影認定医
- ・ 日本超音波医学会超音波専門医
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 医学博士
- ・ 東京医科大学病院乳腺科兼任講師

乳腺外科医長
(第二川崎幸クリニック担当)

中村 幸子

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本乳癌学会専門医・指導医
- ・ 臨床遺伝専門医
- ・ 遺伝性腫瘍専門医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ マンモグラフィー読影認定医
- ・ 乳腺超音波読影認定医
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 医学博士



乳腺外科
(第二川崎幸クリニック担当)

関 晶南

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本乳癌学会認定医
- ・ マンモグラフィー読影認定医
- ・ 乳腺超音波読影認定医
- ・ 緩和ケア研修会修了



副院長
呼吸器外科顧問
中央診療部門長
藤野 昇三

コロナ禍で先延ばしになっていた病院機能評価が漸く終了し、対策委員長として一応の責務を果たしホッとしたというところです。昨年は各診療科に共通する診療科（救急部・放射線診断科・病理診断科）をまとめて有機的に活動できることを目指した中央診療部門の長に任命され、幸い大きな仕事は有りませんでした。幾つかの問題点を改善することができました。

臨床に関しては昨年度もこれまでと同様に呼吸器外科顧問というポストで呼吸器外科に関わらせて頂いてきました。私の主な担当は週2回の外来と肺癌の薬物療法です。残念ながら肺癌は現在でも手術対象にはならない患者さんが多く薬物療法が治療法の大きな選択肢となっています。消化器領域や乳腺領域と比較するとまだまだ件数が少ない状況ですが、肺がん領域では免疫チェックポイント阻害剤の導入が他領域より先行しており、件数の増加と成績の向上が得られています。また周術期の薬物治療の成績が明らかになり、薬物治療による外科治療成績の改善や手術件数そのものの増加にも貢献できると考えています。



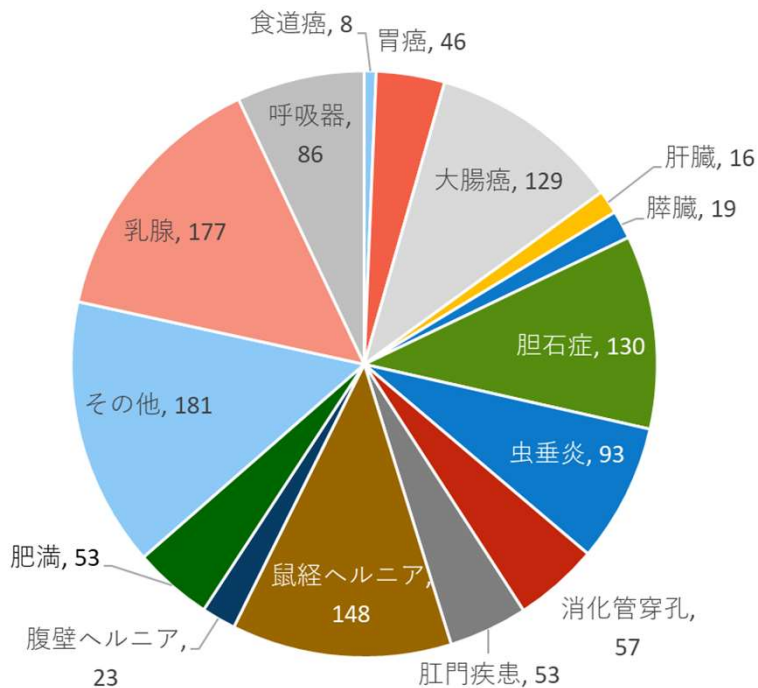
外科顧問
第二川崎幸クリニック院長
関川 浩司

コロナ禍も早3年半が過ぎようとしております。昨年も国民共通の話題は一年を通してコロナに関するものばかりでしたが暮れのFIFA W杯カタール大会での日本チームの活躍そして今年3月のWBCのサムライJapanの活躍は久しぶりに国民共通の明るい話題となり、力をもらえ、しばしコロナ禍を忘れることができました。3月13日に始まったマスク着用の自己判断そして5月8日からはコロナ感染症が2類から5類へと移行しコロナ禍がようやく一段落の予感もあり、今年こそは明るい一年になるのではと感じております。一方では感染症がなくなったわけではなく、医療者は重症化する人々をいかに守るかを考え続けなければなりません。このため今しばらくは気を引き締めて行動しなければならないと思っております。皆さまそしてスタッフの安全を第一に考え院内での感染防止対策は引き続き継続して参ります。当院の本年の標語は意気軒昂そしてStay Cheerfulにしました。今年こそは明るい年にしたいとの願いも込めました。本年も川崎幸病院そして第二川崎幸クリニックへのご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



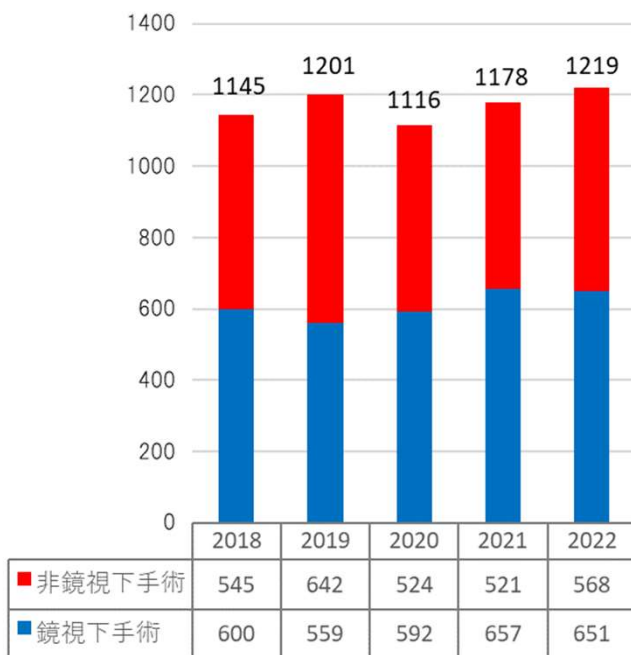
手術実績 (2022年度)

手術件数内訳(全1,219件)

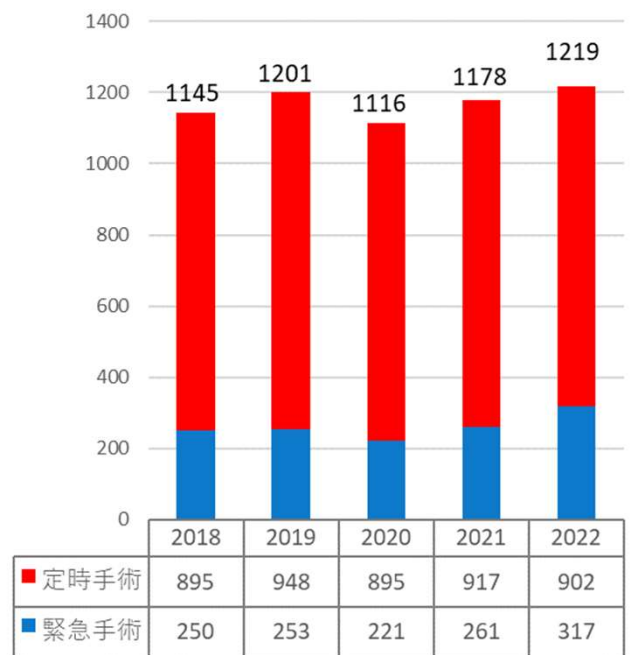


食道癌	8
胃癌	46
大腸癌	129
肝臓	16
脾臓	19
胆石症	130
虫垂炎	93
消化管穿孔	57
肛門疾患	53
鼠経ヘルニア	148
腹壁ヘルニア	23
肥満	53
その他	181
乳腺	177
呼吸器	86

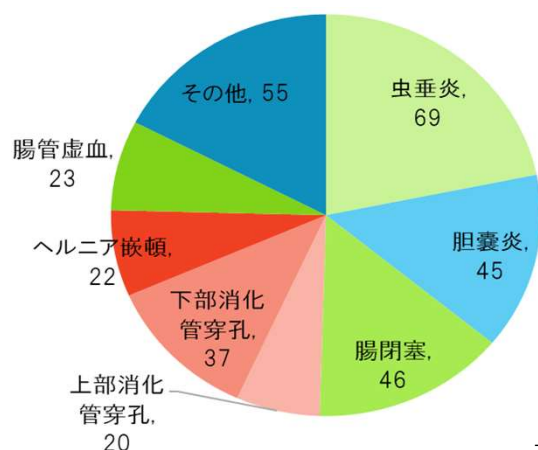
総手術件数と鏡視下手術 年次推移



緊急手術と定時手術 年次推移



緊急手術件数内訳(全317件)



虫垂炎	69
胆嚢炎	45
腸閉塞	46
上部消化管穿孔	20
下部消化管穿孔	37
ヘルニア嵌頓	22
腸管虚血	23
その他	55
合計	317

【国際学会】 研:初期研修医 専:専攻医

発表者	部署	期間	学会名	演題名	発表形態
網木 学	外科	4月28日-4月30日	韓国内視鏡外科(KSELS 2022)	Initial entry via the left upper quadrant with an optical trocar in laparoscopic sleeve gastrectomy	ポスター

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	発表形態
石山 泰寛	外科	2月4日-2月5日	9th Reduced Port Surgey Forum	単孔式腹腔鏡下手術の経験を生かした直腸癌に対するta TMEの導入	一般演題
伊藤 慎吾	外科	2月17日-2月19日	第19回日本臨床腫瘍学会学術集会	大腸癌化学療法中のがん関連ディスペシア症状に対するアコファイドの有効性	ポスター
小根山 正貴	外科	3月2日	第94回日本胃癌学会総会	当院における切除不能進行・再発胃癌に対する三次治療としてのニボルマブの治療成績	ポスター
研: 澤井 悠樹	外科	3月12日	第863回外科集談会	虫垂粘液性腫瘍に対して単孔式腹腔鏡下盲腸部分切除術を施行した1例	一般演題
伊藤 慎吾	外科	3月24日-3月25日	第58回日本腹部救急医学会総会	当院で経験した単腸症候群の長期予後についての検討	一般演題
専: 原田 龍之助	外科	3月24日-3月25日	第58回日本腹部救急医学会総会	当院における上部消化管穿孔に対する術前内視鏡と手術成績の検討	一般演題
望月 一太郎	外科	3月24日-3月25日	第58回日本腹部救急医学会総会	小腸およびS状結腸が同時破綻し、S状結腸壊死に至った鼠径ヘルニアの一例	一般演題
網木 学	外科	3月26日-3月27日	第39回日本肥満症治療学会学術集会	当科における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の導入と治療成績	一般演題
網木 学	外科	3月26日-3月27日	第39回日本肥満症治療学会学術集会	外科治療成績1	座長
石山 泰寛	外科	4月14日-4月16日	第122回日本外科学会定期学術集会	当院における結腸癌に対する腹腔鏡下手術の定型化とICG蛍光法の使用状況	一般演題
伊藤 慎吾	外科	4月14日-4月16日	第122回日本外科学会定期学術集会	大腸癌術後の便秘症についての検討	デジタルポスター
成田 和広	外科	4月14日-4月16日	第122回日本外科学会定期学術集会	外科のタスクシフトにおける特定行為研修修了者の協働と当院の現状	サージカルフォーラム
長山 和弘	呼吸器外科	5月20日-5月21日	第39回日本呼吸器外科学会学術集会	原発不明癌多発縦隔リンパ節転移に対し、導入化学放射線療法後に切除を行った1例	一般演題(口演)
長山 和弘	呼吸器外科	5月20日-5月21日	第39回日本呼吸器外科学会学術集会	術前CT画像から推定する肺部分切除可能な領域～工学的手法を用いた外科医の熟練度による違いの検討	一般演題(口演)
長山 和弘	呼吸器外科	5月28日	第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	軟性内視鏡下に気管支拡張バルーンを用いて嵌頓を解除し摘出できた気道異物の1例	一般演題(ビデオ)
網木 学	外科	6月3日-6月4日	第20回日本ヘルニア学会学術集会	十分な術前減量を達成後にeTEP-TAR法による腹壁瘢痕ヘルニア修復を行った2例	ポスター
網木 学	外科	6月3日-6月4日	第20回日本ヘルニア学会学術集会	一般演題「大腿ヘルニア」	座長
伊藤 慎吾	外科	6月3日-6月4日	第20回日本ヘルニア学会学術集会	腹腔鏡下虫垂切除とTEP法により一期的に治療したDe Garengeot herniaの1例	一般演題
伊藤 慎吾	外科	6月15日-6月17日	第47回日本外科系連合学会学術集会	切除不能進行再発胃癌の治療成績とアドバンスケアプランニングの現状	ワークショップ
研: 結城 啓介	外科	6月16日-6月17日	第47回日本外科系連合学会学術集会	直腸癌に対する腹腔鏡下低位前方切除術の縫合不全に対し、内視鏡的に縫縮を得た一例	一般演題
研: 加藤 祐樹	外科	6月16日-6月17日	第47回日本外科系連合学会学術集会	水腎症を合併した十二指腸背側の穿孔の一例	一般演題
研: 阪本 大貴	外科	6月16日-6月17日	第47回日本外科系連合学会学術集会	緊急手術を要した突発性S状結腸腸間膜血腫の一例	一般演題
石山 泰寛	外科	7月20日-7月22日	第77回日本消化器外科学会総会	局所進行直腸癌に対するtaTMEの手術手技	一般オンライン
網木 学	外科	7月20日-7月22日	第77回日本消化器外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術導入におけるフェローションの有用性	一般オンライン
伊藤 慎吾	外科	7月20日-7月22日	第77回日本消化器外科学会総会	高齢者pT1b大腸がんの外科治療における意義に関する検討	一般オンライン
専: 原田 龍之助	外科	7月20日-7月22日	第77回日本消化器外科学会総会	直腸癌にて縫合不全予防目的に留置した経肛門ドレーン(ウイングドドレーンチューブ)の使用報告	一般オンライン
伊藤 慎吾	外科	9月16日-9月17日	日本蛍光ガイド手術研究会第5回学術集会	当院ICG蛍光法を用いた直腸癌における縫合不全防止に向けた取り組み	一般演題
石山 泰寛	外科	9月16日-9月17日	日本蛍光ガイド手術研究会第5回学術集会	NOMIに対するICG蛍光法は有用なのか?	一般演題
小根山 正貴	外科	9月24日-9月26日	第76回日本食道学会学術集会	大型有鉤義歯を頸部食道より分割除去し得た頸胸上部食堂異物の1例	一般演題
伊藤 慎吾	外科	10月1日-10月2日	第63回全日本病院学会in静岡	ポストコロナ時代の緩和ケア 多職種連携により在宅見取りを目指した胃癌患者の外来治療	一般演題
長山 和弘	呼吸器外科	10月5日	第75回日本胸部外科学会定期学術集会	肺部分切除の可否判断を予測する機械学習モデルの構築～熟練医の判断技術の再現と共有の可能性	パネルディスカッション
伊藤 慎吾	外科	10月14日-10月15日	第77回日本大腸肛門病学会学術集会	pT1b大腸癌の外科治療における意義に関する検討	要望演題
石山 泰寛	外科	10月14日-10月15日	第77回日本大腸肛門病学会学術集会	大腸癌のPathological T4に対する腹腔鏡下手術は安全なのか?	シンポジウム
伊藤 慎吾	外科	10月20日-10月22日	第60回日本癌治療学会学術集会	進行胃癌に対し多職種連携で実践する早期緩和ケア 理想的な終末期に向けた取り組み	Eポスター
専: 福田 敏之	外科	10月20日-10月22日	第60回日本癌治療学会学術集会	pT1b直腸癌に対し内視鏡的治療を施行した3年後に直腸傍リンパ節の局所再発を来した1例	Eポスター
伊藤 慎吾	外科	10月27日-10月30日	JDDW2022 FUKUOKA	Preferences for care to enable home death among adult patients with cancer in late palliative phase -a ground theory study	シンポジウム
石山 泰寛	外科	10月27日-10月30日	JDDW2022 FUKUOKA	術後発熱は大腸癌術後の縫合不全のバイオマーカーとなりうるか?	Dポスター
伊藤 慎吾	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	急性期病院で実践している切除不能進行胃癌に対する多職種連携によるACP	特別企画
伊藤 慎吾	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	切除不能進行胃癌に対して外科医が行う化学療法と緩和ケア 急性期病院で実践する多職種連携による胃癌治療の現状と課題点	パネルディスカッション
専: 福田 敏之	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	横行結腸に発生した巨大平滑筋腫の1例	示説
望月 一太郎	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	脾切除を要した出血性GISTの2例	示説
石山 泰寛	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	直腸癌に対する経肛門アプローチ併用による直腸間膜切除の手術手技	示説
皆川 結明	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	直腸癌、腹膜癌再発に対する後方治療としてRegorafenibが著効しclinical CRが得られている1例	示説
研: 興野 真由	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	大動脈疾患を合併した症例は大腸癌に対する手術を安全に行えるのか?	一般演題
研: 小川 純平	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	後腹膜再発に対して外科的切除を施行した30cmを超える巨大後腹膜脂肪肉腫の1例	一般演題
研: 三舟 大和	外科	11月24日-11月25日	第84回日本臨床外科学会総会	腹腔鏡下低位前方切除術の経肛門ドレーンによる微小穿孔に対して内視鏡的に治療し得た1例	一般演題
網木 学	外科	12月1日-12月3日	第40回肥満症治療学会	減量・代謝改善手術の最新エビデンスFirst trocar挿入のエビデンス	一般演題
網木 学	外科	12月8日-12月10日	第35回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の定型化と短期治療成績	ワークショップ
石山 泰寛	外科	12月8日-12月10日	第35回日本内視鏡外科学会総会	進行直腸癌に対する経肛門アプローチ併用による直腸間膜切除術	一般演題
網木 学	外科	12月8日-12月10日	第35回日本内視鏡外科学会総会	ミニオーラル「減量・代謝改善」	司会
伊藤 慎吾	外科	12月8日-12月10日	第35回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下大腸切除術におけるアッドプリーの有用性について	ミニオーラル
研: 山城 亨平	外科	12月8日-12月10日	第35回日本内視鏡外科学会総会	小腸脂肪腫による腸重積症に対して、腹腔鏡手術を施行した1例	ミニオーラル

【論文・教科書執筆等】

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
網木 学	外科	Asian Journal of Endoscopic Surgery 2022;15(2):463-466	Initial entry via the left upper quadrant with an optical trocar in laparoscopic bariatric surgery	学会誌
研: 工藤 理沙	外科	外科 2022;84(4):381-384	S状結腸癌の尿管転移の1例	雑誌
石山 泰寛	外科	Asian journal of surgery.2022 Jun 17:S1015-9584(22)00578-4	Safety and effectiveness of indocyanine green fluorescence imaging for evaluating nonocclusive mesenteric ischemia	論文
石山 泰寛	外科	Colorectal Disease.2022 Jul 24	Laparoscopic left hemicolectomy and en bloc splenectomy for locally advanced descending colon cancer -A video vignette	論文

シームレスな診療の提供 ～ 第二川崎幸クリニックとの連携 ～

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



- ・入院治療
- ・がん集学的治療
(手術・放射線治療・化学療法)

シームレスな
診療



- 外科外来/化学療法外来/がん相談外来/
化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/
漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/
がんサロン など

第二川崎幸クリニック 外来予約センター
TEL 044-511-2112

午前診療/ 9:00～12:00 午後診療/14:00～16:30
夕方診療/17:30～予約診療終了まで
土曜診療/ 9:00～12:00
休診日/日曜・祝祭日



交通アクセス
<https://saiwaicl-2.jp/access/>

外来診療



川崎市幸区都町39-1

入院・手術



川崎市幸区大宮町31-27



緊急を要する患者様のご紹介は、

川崎幸病院 地域医療連携室(044-544-4638)までご連絡ください。